

氏名（ ） 介護体験または教育実習による欠席者用作業用資料

## 日本の農業判読用紙

### ・作業の手順

以下の作業を、3品目以上の農作物（ミカン以外）について行う。

- (1) Google Chrome (iPad の場合は Safari) で「Google Earth で見える地図教材のページ」の「農業」のページを表示する
- (2) 「農業」のページで作物を選んで、「学習用セット」欄の「〇〇学習用」の青いボタンをクリックして、kml ファイルをダウンロードする。
- (3) Google Chrome で新しいタブを開いて、その新しいタブで Google Earth を開く。
- (4) ダウンロードした kml ファイルを Google Earth で開いて（お気に入り→KML ファイルをインポート→ファイルを開く）、開いたファイルを保存する。
- (5) 立体で表示された収穫量の分布の特徴を読み取り、右の①に記述する
- (6) 画面左端の「お気に入り」欄に表示された「▶〇〇学習セット」の▶の部分をクリックすると下図のように、いくつかの地図の名前が表示されるので、「年平均気温」の右にある目のような絵をクリックする。そうすると、日本の年平均気温を表す地図が表示されるので、年平均気温と収穫量の分布との関係を読み取り、裏の②に記述する



- (7) 「年平均気温」の右にある目のような絵を、もう一度クリックすると、日本の年平均気温を表す地図が非表示になる。そして、「年降水量」の右にある目のような絵をクリックして、日本の年降水量を表す地図を表示して、年降水量と収穫量の分布との関係を読み取り、裏の②に記述する
- (8) 同様にして、人口密度と収穫量の分布との関係を読み取り、裏の②に記述する
- (9) 人口密度を表す地図を非表示にして、「〇〇畑」と書かれた部分をダブルクリックすると、〇〇畑の上空に移動するので、上空から見た耕地の特徴を読み取り、裏の③に記述する。
- (10) 〇〇畑のストリートビューを表示して、地上から見た耕地の特徴を読み取り、裏の③に記述する
- (11) 収穫量の分布を参考にして、他地域の〇〇畑を探す
- (12) 上空および地上から見た、他地域の〇〇畑の特徴を読み取り、裏の③に記述する

裏面にも記述する欄がある。

### ①収穫量の分布

ミカン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上位 30 市町村は、東海から九州に分布しており、収穫量が多い市町村は、日本の南部に偏っている。</li> <li>・北陸、東北、北海道など、日本の北部にはミカン産地がない。</li> <li>・収穫がある市町村のほとんどは、海に面している。</li> </ul>

## ②背景となる自然・社会環境との関係

ミカン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年平均気温が 15℃以上の地域に、ミカン産地がある。</li> <li>・年降水量が 2500 mm を超える地域にも、1000 mm を下回る地域にも、ミカン産地がある</li> <li>・人口密度が極めて高い地域には、収穫量が多い地域はないものの、それ以外の様々な人口密度の地域にミカン産地が分布する。</li> </ul>

## ③耕地の特徴

ミカン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明るい色の地面に、緑色の点あるいは線が、整然と並んでいる。</li> <li>・地面が明るい色ではなく、緑色の地域もある。</li> <li>・平野ではなく、山地の平野に近い部分にみられる。</li> <li>・愛媛県松山市では、モノレールがあった。</li> <li>・和歌山県有田川町では、平野にミカン畑があった。</li> </ul>

表面にも記述する欄がある。